

## 「視覚障害者情報提供施設でのサービス事例」

2008年

障害者サービス担当職員向け講座 関西

日本ライトハウス盲人情報文化センター

読者サービス係 西村安彦

### 1. 日本ライトハウス盲人情報文化センターでの貸出しサービス

#### <歴史>

- ・大正11年 創始者の岩橋武夫が点字図書製作開始、昭和7年点字図書貸出、
- ・昭和10年 阿倍野に「ライトハウス」を建設。

(東京で、昭和15年日本点字図書館が建設。その後、北海点字図書館が建設)

- ・昭和23年 阿倍野から放出、そして肥後橋。現在は、日本橋。

(平成21年に肥後橋に盲人情報文化センターの新館ができる予定)

放出に本部とリハビリテーションセンター、東大阪市に点字出版所、千早赤坂村に盲導犬訓練所がある。(視覚障害の方の自立と社会参加を応援する総合福祉施設)

大阪府下では、日本ライトハウス以外に、大阪府盲人福祉センター図書館、早川福祉会館点字図書館、堺市立点字図書館、の3館がある。

- ・約500名のボランティアによって支えられ、点字図書、録音図書の製作、貸出し、返却作業をおこなっている。

#### <資料の種類>

- ・点字、カセットテープ、デージー、CD図書、FD図書など。
- ・映画の音声ガイドCDとDVDの貸出サービス

#### <利用登録>

- ・大阪府下在住在勤が条件。
- ・電話で利用登録可能。

#### <貸出から返却の流れ>

毎月末に利用者に新刊案内「読書」を送付。火曜から土曜まで開館。

午前中、返却作業、午後、発送準備作業。

(来館は少なく、電話、手紙、メール、FAX、などで申し込み、郵送貸出し)

読者サービス係ホームページ <http://www.iccb.jp/book/>

日本ライトハウス盲人情報文化センターホームページ <http://www.iccb.jp/>

### 2. 相互貸借およびネットワーク その他

#### <ナイーブネットでの検索、オンラインリクエスト>

自館にないものは、他館から取り寄せて、利用者に提供。

- ・プライベートサービス(有料)と対面朗読

ナイーブネットホームページ <https://www.naiiv.gr.jp/>

### 3. 録音図書のデイジー化と音声配信

- ・カセット図書製作は2009年3月で終了し、同年4月からすべてデイジー化。  
ただし、所蔵のテープ図書は、デジタル化が済むまで、貸出しは続ける。
- ・日本点字図書館は、2011年でテープ図書貸出し終了。
- ・名古屋ライトハウス2008年3月でテープ図書の製作終了（所蔵分の貸出しは、続行）。
- ・「日盲連が利用者にアンケート調査 カセットテープ、7割が今後も必要」カセット利用者への対応をどうするのか？
- ・びぶりおネットでの音声配信（ストリーミング）有料サービス。携帯電話らくらくホンでのモバイル版。

当初、日本点字図書館と日本ライトハウスのデイジー図書で著者に許諾をとれたもののみ、データアップしていたが、2007年秋の著作権法改正により、許諾なしで、音声配信できるようになった。

他の館からのデータアップもあり、一挙に配信数が倍増し、登録者も増えている。

びぶりおネットホームページ <http://daisy.nittento.jp/>

びぶりおネット（パソコン版&モバイル版）西日本在住者からの申し込み受付中